

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札(総合評価落札方式)	
契約の件名及び数量	東京国立博物館等における来館者応対等業務	
契約締結日	平成30年1月31日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社フクシ・エンタープライズ	
入札経緯及び結果	平成29年11月16日 入札公告	
	平成29年12月13日 関係書類提出締切	
	平成30年1月31日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	現契約者以外でも業務内容を把握できるよう、仕様書を分かりやすい記載に改めた。
②業務等準備期間の十分な確保	○	契約締結から業務開始までおよそ2ヵ月を確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数者への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	4者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
「一者応札・応募の改善取組内容」②について、改善をお願いする。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 次回契約の際には、より長い準備期間を確保できるよう努める。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	2	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	東京国立博物館施設貸出対応業務委託	
契約締結日	平成30年3月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社フクシ・エンタープライズ	
入札経緯及び結果	平成30年2月21日 入札公告	
	平成30年3月16日 関係書類提出締切	
	平成30年3月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	現契約者以外でも業務内容・量を把握できるよう、過去2年度分の業務実績を記載したほか、現場説明会を実施した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	仕様書の作成に時間を要し、準備期間は1週間程度しか確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数者への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	2者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めることとしたほか、実績に関する要件を緩和した。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良国立博物館)	
案件番号	3	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財写真原板の高精細画像デジタル化作業 一式	
契約締結日	平成30年3月20日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士フィルムイメージングシステムズ株式会社	
入札経緯及び結果	平成30年2月20日 入札公告	
	平成30年3月13日 関係書類提出締切	
	平成30年3月20日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	仕様書の見直しを検討したが、入札参加者が限られるような内容ではないため、変更には至らなかった。
②業務等準備期間の十分な確保	○	従前と同様に4週間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	契約相手方以外に参加表明をした業者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	○	従前と同じく、予定価格に対応する格付等級に加え、全ての等級を加えた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京文化財研究所)	
案件番号	4	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財情報ネットワークシステム保守業務 一式	
契約締結日	平成30年3月13日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士ゼロックス株式会社	
入札経緯及び結果	平成30年2月14日 入札公告	
	平成30年3月6日 関係書類提出締切	
	平成30年3月13日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	完成図書を参照可能であることを明記した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	準備期間を19日間確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数社への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	2者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	5	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	奈良文化財研究所機械警備業務	
契約締結日	平成29年11月30日	
契約の相手方の商号又は名称等	セコム株式会社	
入札経緯及び結果	平成29年11月2日 入札公告	
	平成29年11月24日 関係書類提出締切	
	平成29年11月30日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで準備期間を十分確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数社への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	○	3者に対して入札説明書の交付を行い、入札に参加しなかった業者に理由等をヒアリングした。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	6	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	災害痕跡データベース及びGISに関するデータベースの改修及び機能拡充業務	
契約締結日	平成30年3月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社つくばマルチメディア	
入札経緯及び結果	平成30年2月26日 入札公告	
	平成30年3月19日 関係書類提出締切	
	平成30年3月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	×	連携先データベースの仕様に大幅な変更があり、仕様策定が遅れたため、準備期間は10日間程度しか確保できなかった。
③公告期間の見直し	○	公告期間を20日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数社への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	—	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
業務準備期間を十分に確保できるよう、連携先データベース担当者との協議を行う。併せて、実情に合わせて仕様内容の検討を引き続き行う。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(東京国立博物館)	
案件番号	7	
入札及び契約方式	事前公募	
契約の件名及び数量	クラウド型図書館システム保守業務	
契約締結日	平成29年12月13日	
契約の相手方の商号又は名称等	日本事務器株式会社首都圏支店	
入札経緯及び結果	平成29年11月14日 入札公告	
	平成29年12月8日 関係書類提出締切	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで準備期間を十分確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数社への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	—	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	○	A～Cの等級について、参加資格を認めた。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。

別紙

一者応札・応募事案フォローアップ票(平成29年度分)

法人名	独立行政法人国立文化財機構(奈良文化財研究所)	
案件番号	8	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約の件名及び数量	文化財建造物写真ガラス乾板 保護修復及びデジタル化業務	
契約締結日	平成29年11月22日	
契約の相手方の商号又は名称等	株式会社堀内カラー	
入札経緯及び結果	平成29年10月27日 入札公告	
	平成29年11月17日 関係書類提出締切	
	平成29年11月22日 入・開札	
一者応札・応募の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	○	実情に合わせて仕様内容を再度検討した。
②業務等準備期間の十分な確保	○	開札から業務開始まで準備期間を十分確保した。
③公告期間の見直し	○	公告期間を21日間確保した。
④公告周知方法の改善	○	書面での掲示のほか、HPで周知している。その他、複数社への声掛けを実施した。
⑤電子入札システムの導入	×	・機構のセキュリティシステムの強化が必要。 ・本部・各施設での導入に伴う業務量増加と効果について検討する。
⑥業者等からの聴き取り	—	契約相手方以外に入札説明書を受領した業者はなかった。
⑦競争参加資格の拡大	○	全等級の参加を認めている。
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
引き続き研究所HP及び掲示板において、十分な期間公告を行う。併せて引き続き仕様内容の見直しを検討する。		
契約監視委員会のコメント		
法人における改善取組はほぼ実施されている。今後もこれらの取組を続けられたい。		
(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置) 今後も一者応札改善の取組を継続したい。		

(注)1. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「改善項目」は、平成21年7月3日事務連絡「競争契約における1者応札・1者応募についての改善方策等について(依頼)」に基づき各法人で作成した改善方策等を基に、適宜追加すること。

(注)2. 「一者応札・応募の改善取組内容」における「状況」は、取組済の場合は「○」、取組未済の場合は「×」を記載。

(注)3. 本書式は雛形であることから、必要に応じて適宜項目を追加すること。